平新報

發行日　毎月三回　五ノ日發行
編輯兼發行印刷人　山野邊庄吉
福島縣平町壹丁目六
發行所　平新報社
廣告料　五號十二字詰一行　一回五十錢　場所指定倍增
一部　定價金拾錢
送料　五厘

×光線科
吉田科醫院
磐城平町南町
電話一二九番

立憲養正會
極右傾に非す

立憲養正會
磐城支部長　齋藤晃

去三月八日××新聞紙上「立憲養正會は團男射擊事件に關係あるか」など奇怪千萬なる記事を發見して少なからず驚いたのである。新聞は社會の公器であり、社會の鏡である筈、全く事實無根なる報導が如何に多くの讀者を迷はしむるか、事實を何等の調査もなく、ただ讀者の好奇心をそゝつて一部も多く賣らんとして無責任に書きたてる新聞販賣政策の卑劣さには呆れ果てる、社會のバロメーターである新聞を商品として糊口をぬらさんとする假面をはいでやりたくなる、言じ切つて居る讀者の心を自由に塗り替えて行く新聞政策の重要性を考へねばならぬ

最近相次いで起る暗殺事件によつて社會の耳目は一齊に右傾團体に向けられたのである。

右傾とは左傾に對して反動的に生れたものと云ふのであらうが、元來左に傾けるものと同一に右に傾けるものも亦中心を失つたものと言はねばならぬ、然らば右と左との中心とは何ぞや申す迄もなく日本國体の体現者であらせらる至尊陛下であらねばならぬ。

天皇を咀はんとするマルクス宗信者の暴力化を極左傾と云ひ、天皇を楯として社會制度の變革を期す可く暴力手段に迄進めるを極右傾と云はれ、何れもその手段方法は相一致するのである、所謂非合法運動として嚴重なる取締を受くるは當然である。

さらば立憲養正會とは何ぞ、養正とは神武聖帝建國の詔勅に宣せられたるところで、中外に施してもとらず古今に通じて謬らざる天地の正道を養護し宣傳するが我帝國建國以來一貫せる基本的原則である、正義をとつて一歩も退かざるが日本の政治である可き筈なるに、現代の日本の何處に此の正義的氣魄が存するであらうか、上陛下のよどみなき川の流れの如き御德と、至誠一貫王者の軍として堂々正義の陣容を示しつゝある國軍の外に爲政者の行動にその片鱗も見出す事の出來ぬのを悲しむのである、

今や世界紛爭の禍根を爲す滿洲は我皇國の正義の懷に抱かれて世界絶對平和の鍵を藏しつゝあるではないか、

我立憲養正會は正義の國日本を護る可く生れ、正義の國日本の眞使命を世界に宣傳す可く起されたのである、即ち絶對中正なる日本國体の正道に基き　天皇政治の確立を期する政黨であつて、その實現の方法として國体主義者の議會進出を目標とするは勿論である、

利權獲得の手段として單なる選擧期間中線香花火的に說く彼等の政治論とは全然趣きを異にし、常住不斷に眞に正しき日本の政治を國民に呼びかけ、國民の政治的自覺によつて新正日本を作らんとするのである、利欲に迷はず權力におもねらず堂々たる國体道義の理論を提げて一致報國の至誠に燃ゆる憂國の士の團結として現代唯一のものであらう。

かゝる本會の內容を知らずして直ちに議會制度を否認し、專制政治を主張する極右傾との妄斷を下す勇敢さには驚く、彼等既成政黨が暴力手段に訴えて神聖なる可き議會政治を蹂躙して傍若無人なる政黨制政治を斷行しつゝある事實は否定し得ないであらう、彼等にして眞に議會政治の神聖を認むるならば何故に正しき國民の輿論の代表者を議會に送らざるか、金力と壓迫によつてデッチあげたる何如はしき人間のみを狩り集めて何故た忠誠護國の國士の進出を封ぜんとするか、

既成政黨の排擊を以て右傾なりとせば我軍部の精鋭は悉く右傾と云はねばならぬ、同胞幾萬の肉彈を以て得たる權益も利權魔の好餌と化する事實を目擊して誰か國民的義憤なからん、國民としての立場から云はざるを得ずして云ひる事も殊更に危險視せんとするは、刻々に離れ行く民心に狼狽して伸びんとする國民の正論をもふみにじる既成政黨の醜態と云はざるを得ぬ。彼等の言ふ所謂右傾左傾とは既成政黨を中心として論ずるものの如く實に噴飯の至りではないか、殊に我等を目して今度の團男射擊事件を起せる血盟團の一派とは何を根據としてかゝるこつけいな判斷を下すのであらうか、明治維新を夢る感傷的憂國熱に醉える青年の輕擧妄動は我等の正々堂々剛健中正なる運動と混同せらるゝとは笑止の沙汰である。されど社會の情勢は混沌として不安の氣に充つるは寒心に堪えざるところであつて、血氣の青年を驅つてかゝる大事を爲さしむる程の社會の惡化を政治家諸公は深く考へねばならぬのである。

既成政黨政治家よ！　大財閥諸氏よ！

今や政治的にも經濟的にも危機に頻せる日本の現狀を打開せんとせば、先づ一擧一動をすべて國家的自覺の上に起ちて善處せられよ太陽の曇りなきが如く公明正大なる　天皇政治こそ正しき日本の政治なりとの根本的自覺に生きられよ、

我等は翕然として起る國民の愛國意識に促されて護國の戰線を擴大しつゝあるのである、

踏まれても踏まれても伸びんとする生命力の偉大さを持つ路端の草の如く、一本の草にも　天皇の光はへだてなく與へられやがて天を摩するの時を期するのだ年頭の御製にはかく仰せられた。

ゆめさめて我世を思ふ曉に
長なき鳥の聲ぞきこゆる

あゝ、國を思ふものの大同團結によつて一日も早く天皇の御夢を安らかにしようではないか、それが國民の至情であり、國礎を萬代に築く所以であつて、國民生活の安定は初めて招來せられるであらう、敢えて正義の團結立憲養正會に集られん事を切に希望するものである。（七、三、二二）

戰爭

江尻中

此の世が創まつてから、このかた何萬年何億年たつたか、自分には分らないが兎に角永い歳月が經來つたものである、此の間恐らく爭鬪と云ふことの絶えたことが無いと思ふ、

色々な植物と植物との間に於て、或は動物同志の間で、小は顯微鏡的なるものから大は天をつくと思はれる間で行はれ、やがてこの種族は一團となつて動物對植物の戰が開かれるのだ、

かゝる間に又人類の一種族が加はつて益々戰を劇烈ならしめた、そして人類同志も矢張り動植物に於けるやうに夫々物質的に或は精神的に爭鬪が行はれて來た

自己擁護のため、自己の種族を繁殖せしむるための之等、生物間の爭ひは、或る時代に於ては、弱肉强食で結局は勝利は力の强大なるものに歸したのである、然し人類の生づるに及んで之等の體力を以てから誇つて居たものは人類の其の卓越した智能のために次第に征服され、或るものは既に滅亡し或るものは衰頽しつゝあることは事實である、乃ち人類は生物界に於ける勇者となり萬物の靈長であると云ふて居る所以は此處にあるのである、

戰は獨り生物間のみてなかつた、生物對自然の戰爭無限大の力を有する自然とそれから見たならば取るに足らぬ微細な微弱な生物との戰が行はれてゐる、特に人類と對して最も劇烈を極めた、其戰には幾多の犧牲が伴ひ幾年かの苦鬪が續けられた、然し乍ら人間の努力はよく彼を征服し得たことも事實である、

萬物の靈長であると云ひ或は自然の一部を征服し得たことに依つて、一も二も其力に依り賴んで居る人間は果して萬物の靈長であつたらうか、果して自然を征服し得たと云へようか、蓋し今次の自然の大威力に依て破壞しつくされた所謂文明の產物とも謂ふ可き、諸設備を見る時、思ひ半に過ぐるものがある、

人間は自然を征服し得たと考へてゐたが、それは大海に浮ぶ粟一粒にも過ぎぬ程の極小部分であつた、極微弱な力であつた、そして征服し得たと考へてゐる反面に却つて自然に依て征服されてゐることに餘り氣をかけなかつた。

自然との戰の結局は人間に及ぼす戰が劇しければ劇しい程多いとしたならば、吾等は如何にして自然と對立して行く可きか、これこそ吾等の最も考究すべき點であらうと思ふ。即ち自然の力をして素直に受け入れて之を利用すべきにあるのではなからうか。

自然との戰の勝敗はやがて、人間同志の爭ひをして一層峻烈ならしめるものである、凡そ生物の其の何れよりも良く生きんとするの心のあるは通有性とも言へよう、その結果此處に內的或は外的に爭の起る因となるが、若し人間の間に於て之を惡に根さして起すは、やがて人類の共存をして、全く破壞するに至り、善に於てなす時は其人類界に及ぼす福利の大なるものとなる今之を現代の世相に照して見る時に甚だ遺憾にたいないものがある、日々の新聞紙上に依つて幾多の醜事實は其處に暴露されてゐるではないか、そして之等は凡て極端な利己主義と金と女とに依て幾多の問題が起つて居るを見る時、若し此の世からして金と女とを取り去るならばと思はしむること幾度もある。

自然對人類の戰の上に互の融合を必要とする如く、人間同志の戰の間にも亦必要とするものである、そして先づ個人々々の心の改造を切に感ずるものである然らば人間相互のための善戰は得られないと思ふ。戰爭は今尙行はれつゝあるのである、實に地上は絶大な戰場であると云へ得る、そして生物これ皆戰士である、戰の中に生れ戰の中に死ぬ戰爭必ずしも排斥すべきではない、戰に依て我等は完全に生き、向上し得るのである、然し戰は飽迄正義を楯とした善き戰の戰士であらうねばならぬ。（完）

平町文化と衛生上 町局當者の反省を促す

平町當局が最近上水道の完成に伴ひ下水道及び道路補裝に躍起となつてゐるのは惡い事ではないが眞の美觀並に衛生上からなぜに共同便所を徹廢したる儘にしておくのであろう、警察犯處罰令第三條第三項に「街路ニ於テ屎尿ヲ爲シ又ハ爲サシメタル者ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス」との規定があるに不拘取締り擔當の別あるに依る故か通行者の不便を不顧は衛生上由々敷問題である、行樂の春、博覽會、觀櫻會等々人出を豫想される今日共同便所の設置は急を要する路上屎尿の處分に閉口する苦しさは町當局者諸公に於ても必ず經驗されて居るのは想像に難くない、萬一必要なしとする諸氏あらば試に一夕足を横道乃至本町通り兩裏に運ばれたい、そこには立小便をする違反者を見受けるであらう。

× × ×

編纂者として電話加入者諸氏へ

安藤信義

昭和七年二月一日現在の「石城電話番號簿」編輯に當つて石城郡下電話加入者並に廣告主諸氏に一方ならぬ御後援を得た事を深謝する、と同時に其監督官廳の余りにも無責任不親切極まる處置と手續上の矛盾には呆れてしまつた、抑も此度の計畫は去る一月初旬平新報社企畫部にて發表し、其手續を平郵便局に尋ねて仝月十二日認可願を差出したるに放任する事約二ヶ月其間總選擧ありしとは云へ他に認可條令に反する如く感ぜらるゝ提願者あるを知らせず（他に出願者ある場合は中止の豫定なりしもの）五十日を經過して突如同日附にて認可書の交附は實に其意を得ぬ處である、如何なる理由あるにせよ、印刷上非常なる相違ある印刷物に對し注意警告を與へず亦認可條令を無視したる處置に對し編纂者としての責任上各關係者に及ぼしたる影響は、迷惑を越して申譯なき次第であるが結極は、矛盾せる規則に拘泥し通り一扁の取扱ひを爲して僅に責をふさぐ受付局庶務係の勤人氣質の哀れなる行爲の影響と解さるべきと思考されても余儀なきものなしと謂はれても已むを得ぬ事であらう、

西村屋藥舖 種子販賣開始

平町西村屋藥舖では今回横濱植木株式會社代理店として草花、蔬菜物種子の販賣を開始したが仝種子は十二分精撰せるものであると

話耳目

總代人選擧で亂騷した平庶民金庫では去る二十三日理事の改選を執行、阿部政右衛門、三森虎雄の兩氏辭任につれ、山崎與三郎、諸橋久太郎の兩氏選ばれ、星野清吉、柏原幸次郎、關内正一、野崎滿藏、青沼鋒太郎の五氏は再選重任の樣であるが山崎、諸橋の兩氏は果して受諾するかどうか、山崎翁は清三氏（仝氏目下上京中）と諮らぬ上は返答出來ぬと言明して居る

× × ×

近來櫻の名所で知られて來た平町も本年は四月一日より昭和博覽會あり、平町の人出は相當多からうと觀られて居る、兎に角、不人氣や不景氣の聲は一掃したいものである

× × ×

來る九月は貴族院議員の改選であるが果して何人が立候補するか、本縣定員二名であるが政、民の妥協成るか、政友會では今回は濱通りに持つて來る相だが、そうすると松本孫右工門氏か、諸橋久太郎氏だそうだが、諸橋氏は絶對出ないと語つて居る。

× × ×

來年の三月は平町長の滿期、四月は町村會議員の改選、來年の今頃は隨分活氣つくべく今からその候補者を物色しつゝある物好きあり、立候の準備怠らぬ人ありとなか〳〵スピート式であり氣の早い事ではある、

□櫻花で有名になつた平町その色街解語の花のシホレ方はないが公園の花に連れ活氣つく事であらふ□但し、如何に暗に咲く花でも過般の火花にはオドロイタと見え、三味線どころかバチを手にしてウロ〳〵した姐さんが多かつた相だ□時に！今回仲家から出た斷髪は蘭子と稱し拾年前久本に居つたカホルで芳紀正に三十一才とある、十八等と見て居る醉人はチト目をこするべしである□三島家の丸子思ふ男に裏切られ卵に思ふ男の姿をかいて軒下に埋めて置く……若し男が丸子に還つて來たら堀り出して神棚に上げ、然らずときはふみつける……とその男は難病に惱むとの事どうだ裏切る男よ、早く丸子に還るべしかネ！

平町田町
高久病院
電話五一三番

ポケット型 石城電話番號簿發行

從來石城銀行組合で年一回宛郡内電話加入者へ配付しつつあつた「私製電話番號表」は昨年來中止になつてゐたので本社では必要を痛感し尚電話加入者諸氏の希望もあり依つて一般に電話加入者たらず共携帶し得られる樣考慮して曩に仙臺遞信局へ其認可を申請した處去四日附を以て五日午後許可書を接受したので掲載範圍を遞信省發行普通電話簿に則し二等局以外郡内特設電話加入者を各局別見出しを附して歐字横組五十音索引の至便なものとしたポケット型七十余頁の私製電話番號簿を發行したが定價其他は左の通りである。

一、定價金貳拾五錢

發行所　平新報社

櫻花期提灯賣出し

花模樣付賣出用提灯　一ケ金三十五錢
元綠模樣付仝耐雨ミシン縫　一ケ金五十五錢
市内裝飾軒提　一ケ金四十錢ヨリ

其他種々取揃てあります。御照會次第早速現品見本持參御伺致します。

平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番

辰（官許）平町中町（電六二）
砂クサのクスリ
膏（家傳妙藥）本舖山田盤麿

藤田女學校生徒募集

一、本科　五十名
二、裁縫專修科　百名
三、師範科　三十名
四、專攻科　二十名
五、本科裁縫專修科二年補欠編入若干名

（新設）選科（晝間部五十名／夜間部三十名）

右希望者ハ至急願書提出ノコト
詳細ハ本校宛學則請求セラルヘシ

昭和七年三月
文部大臣認可
福島縣平町田町
藤田女學校
電話三二八番

通學服賣出し

新學期が近づいてまいりました。坊チャマ・孃チャマの可愛らしい通學服を色々取揃へました

◆男子用
小倉服……〇、八五ヨリ
同特製……一、七〇ヨリ
紺サージ……三、四〇ヨリ

◆女子用
紺セルセーラー服……二、六〇ヨリ
綿セルセーラー服……一、一〇ヨリ

◆防水マント種々取揃へて御座います

ふかや洋服店
平町三丁目電話二〇三番

度量衡販賣 液体空氣會社製

酸素含有量（百分中九九、五）
（東京工業試驗所證明）

吸入用酸素、酸素吸入器

正確体温器寒暖計
開内藥局
電話四〇番